



カナル Canal

ローマ人の躍進と共に南欧全域に広まったカナル瓦。長い歴史を経て、現代でも南欧の屋根を彩っています。

South of France

南欧の瓦文化の原点であるバレル形瓦"カナル"。その起源はローマ時代に遡ると言われています。上丸・下丸が重なりあうことにより表現される波型の可愛らしい意匠は、本格的な南欧住宅の温かみ溢れる佇まいを演出します。



海外施工例：フランス

ヴァントウ

フランス南部の街トゥールーズの市庁舎は、18世紀建立の歴史ある建造物です。2005年の修復事業において、アンティーク瓦の趣を表現するエイジング加工が施されている、カナル瓦・ヴァントウ色が選ばれ、経年美・伝統美を再現し美しい市庁舎に彩を添えました。



国内施工例：千葉

アンティーク



海外施工例：フランス

ドミティア

COLOR カラーバリエーション

ヴァントウ *Ventoux*



アンティーク *Antique*



ドミティア *Domitia*



ペイサージュ *Paysage*



テロワール *Terraille*



エンポルダ *Emporda*



※ヴァントウ・アンティーク・ドミティアは、瓦の表面にアンティーク瓦をイメージしたエイジング加工が施されており、味わい深い仕上がりとなります。

軒先サブリエ工法 ～南欧伝統の軒先意匠を再現～

S形瓦サブリエ工法とは、「カナル瓦」の特徴である上丸・下丸が織り成す波型の意匠を、リーズナブルなS形瓦で、軒先のみ専用役物サブリエを使用して表現する画期的な工法です。

S型瓦の軒先



S型瓦【サブリエ工法】の軒先



カナル瓦の軒先



【製品仕様】

全長	500mm
全幅	155/210mm
働き長さ	330～360mm
働き幅	230～260mm
葺き枚数	上丸・下丸 合計約21.4枚/m ² ・約71.3枚/坪
重量	上丸・下丸 各約2.4kg/枚 約51kg/m ² ・約171kg/坪
勾配	4/10寸以上

【物性概要】

焼成温度	1,050℃ (平均)
曲げ破壊荷重	4,039N (JIS1,500N以上)
吸水率	7.6% (JIS 12%以下)
凍害試験	異常なし (繰返し20回)